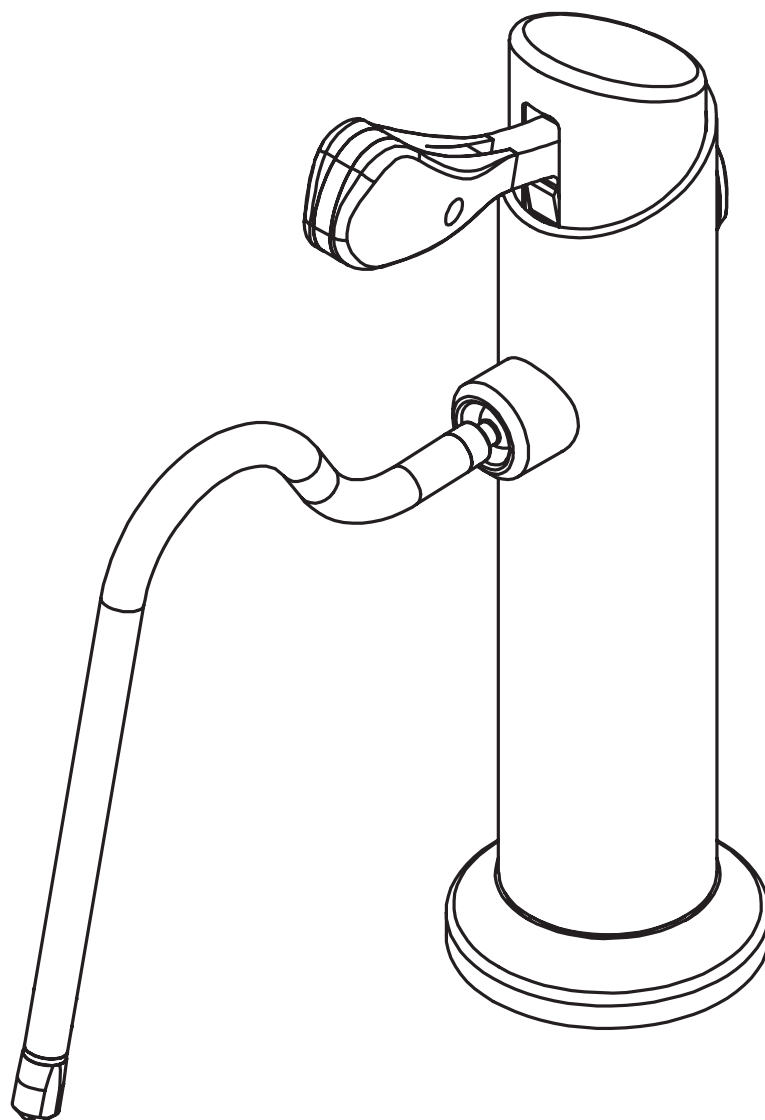


Steam System 2.0

取扱説明書



目 次 頁

● 安全上の注意事項	1 ~ 2
● 各部の名称	3
● 操作方法	4
始業時の準備	4
スチームの抽出操作	4
終業時手順	4
● 洗浄方法	5
● 故障かな？	5
● スチーム圧の調整方法	6
● 仕様	6
● 製品保証書、無料修理規定	裏表紙

このたびは modbar Steam System 2.0
をお求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読み
いただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読み
いただけるようわかり易い場所に大切に
保管してください。

安全上の注意事項

ご使用になる前に この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。
表示内容は次の通りです。



警告

守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。



注意

守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

警告

据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼してください。

アース線は、必ず専用のアース端子に接続してください。

装置を電源に繋ぐ際には、分岐コンセントの使用やタコ足配線はしないでください。

本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行い、電源の容量が不足したり設備工事に不備がないようにしてください

電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込んでください。

コード内部が断線したまま使用を続けると、火災の危険性があります。

電源は、漏電ブレーカーを施した専用のコンセントに接続してください。

機械に水をかけないでください。漏電する恐れがあります。

水のかかりやすい場所や、湿気の多い場所には設置しないでください。

濡れた手で機械・コード・プラグに触れないでください。

マシンから水漏れ、蒸気漏れを確認した場合、マシンの電源をぬいて販売店へ連絡ください。

すすぎ中は抽出口やノズルに手を近づけないでください。

顔や手、または他人にスチームノズルを向けないでください。

火傷を負った場合、ただちに患部を冷やし、状態に応じて医師に相談してください。

熱い飲み物でやけどをする恐れがあります。

適切なドリンクの容器のみ使用してください。容器の破損及び、火傷の恐れがあります。

吸・排気口などの隙間にもものを入れたり、手を近づけないでください。

小さなお子様や、不慣れな方が機械に触れない様ご注意ください。

機械に異常を感じたら、ただちに運転を中止し、販売店へ連絡のうえ、その指示に従ってください。

機械の分解・改造は絶対にしないでください。

修理作業は、専門の修理技術者以外は行わないでください。

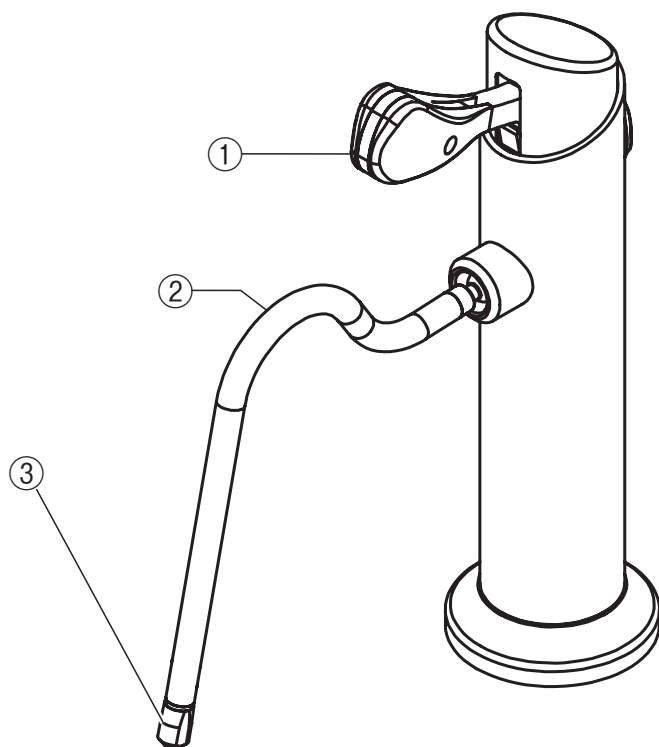
廃却は専門業者か、お買い上げの店に依頼してください。

安全上の注意事項

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

 注意
この機械は、本来の目的以外に使用しないでください。
振動の多い場所や、不安定な場所には設置しないでください。
電源は設置場所から 1m 以内に準備してください。
屋外やこれに準ずる場所には設置しないでください。
高熱を発生する機器の周辺や、直射日光のあたる場所、あるいは凍結の恐れのある場所では使用しないでください。
可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないでください。
機器の周辺は、およそ 10cm 以上の空間をあけて設置してください。
設置場所の周囲は、水やコーヒーがこぼれてもよい場所を選んでください。
メーカー推奨の電源電圧でご使用ください。
メーカー推奨の水道水圧内でご使用ください。
給水に使用する水は、必ず浄水した水道水を使用してください。
ご使用の浄水器の使用期限を確認し、定期的に浄水フィルターを交換してください。
本機の上に物を置かないでください。
製品にもたれたり、乗ったりしないでください。
スチームノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないでください。
運転中、可動部に手を入れないでください。
清掃・点検時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
洗浄が不十分な場合、異物混入やマシントラブルの恐れがあります。
マシンを使用する際は、必ずマニュアルに従ってマシンを洗浄してください。
排出口や排水管に詰まりがないか始業時に点検を行ってください。
漏電遮断器は月に 1 回、動作確認してください。
クリーニング時には、必ず専用の薬剤をご使用ください。
使用する洗浄剤のラベルに記載された危険に関する警告を確認してください。
洗浄剤をドリンクに混入させないでください。
営業終了後など長時間作業者がいない場合は、電源プラグを抜いて水道の元栓を閉めてください。
断水の時はメインスイッチを「OFF(切)」にし、水道栓を閉めてください。
断水が発生した場合や長期間マシン(7 日間以上)使用しない状態が続いた場合、残留物が蓄積することがあります。デイリークリーニングを実施後に使用してください。
設置後に機器の移動は避けて下さい。漏水の原因となります。

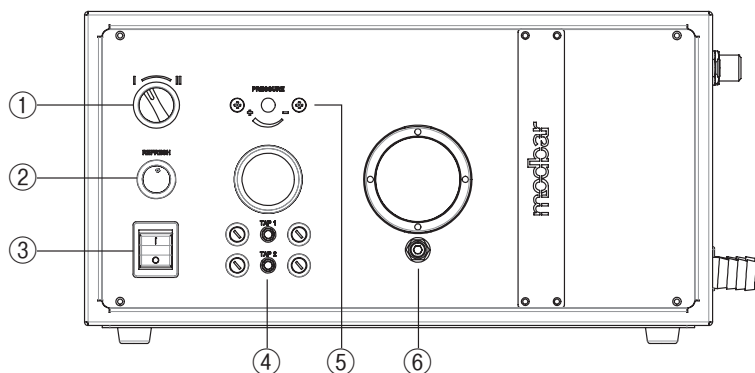
各部の名称



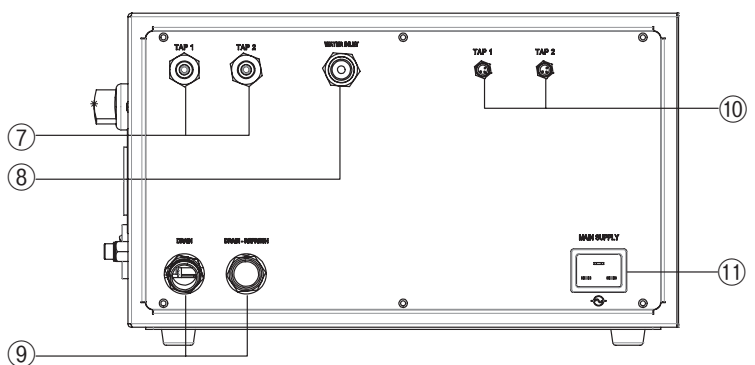
【抽出部】

- ①レバーハンドル
- ②スチームワンド
- ③スチームノズル

■正面図



■右側面図

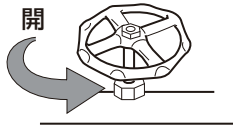


【モジュール部】

- ①ヒータースイッチ
- ②リフレッシュボタン
- ③電源スイッチ
- ④圧力計
- ⑤スチーム圧調整ネジ
- ⑥ボイラー水位確認窓
- ⑦スチームタップ接続部
- ⑧給水接続部
- ⑨排水接続部
- ⑩スチームタップ接続部
- ⑪電源コード差込口

始業時の準備

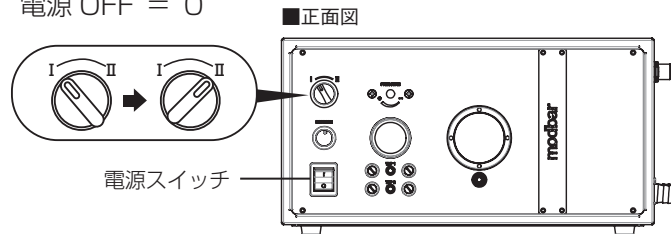
- 1** 水道の元栓を開きます。



- 2** モジュール部正面の電源スイッチを「I」にします。

電源 ON = I
電源 OFF = 0

- 3** モジュール部正面のヒータースイッチを「II」の位置に回します。



スチームの抽出操作

Modbar スチームタップは、タップの上部にあるレバーハンドルで操作します。

レバーハンドルを下げるとスチームが出ます。

スチームを止めるには、もう一度ハンドルを下げてください。



ご注意

飲料を温める前に 1 度レバーを倒して水抜きしてください。

このとき熱湯が勢い良く飛び出しますのでご注意ください。



ご注意

スチームタップは慎重に操作してください。スチームは高温のため、操作方法を誤ると火傷のおそれがあります。

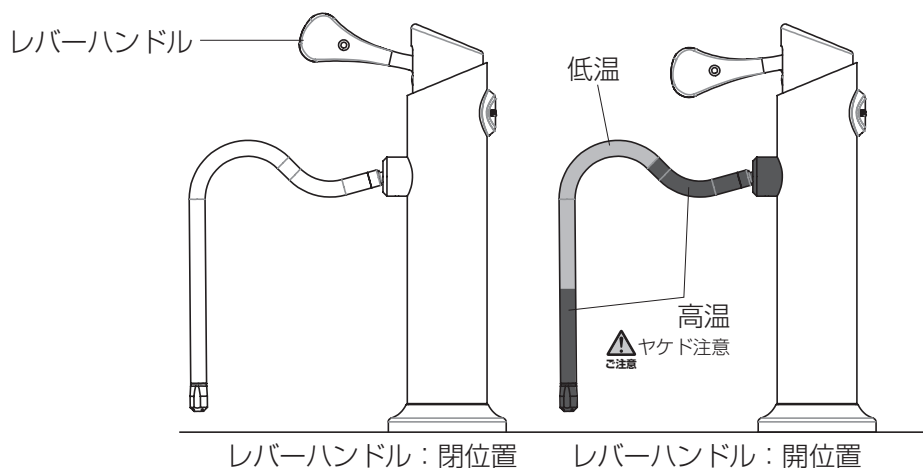
通常の使用時は先端と根元付近が熱くなりますので、ワンドは湾曲した部分を持つようにしてください。



ご注意

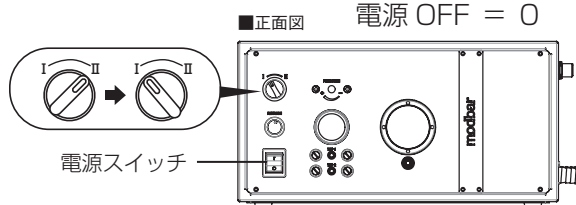
スチーム使用後はスチームワンド・スチームノズルを湿った布でよく拭き、スチームの空出しを十分に行ってください。

(空出しをしないとパイプ内にドリングが詰り異臭発生や故障の原因となります。)



終業時手順

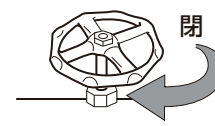
- 1** モジュール部正面のヒータースイッチを「I」の位置に回します。



- 2** モジュール部正面の電源スイッチを「0」にします。

電源 ON = I
電源 OFF = 0

- 3** 水道の元栓を閉めます。



お手入れ & 故障かな？

洗浄方法

■ 正しい洗浄手順

マシンを長く使用するために、またミルクの品質を維持するために、正しい手順で洗浄することが重要です。以下の手順に従うことでマシンの耐用年数と飲料の品質が守られます。

■ スチームワンド・ノズルの洗浄

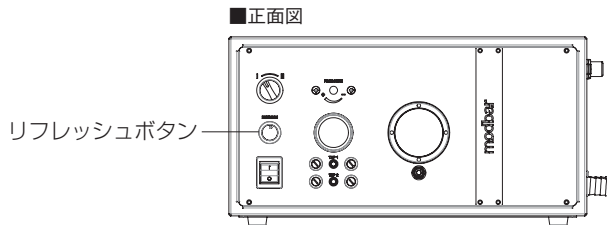
スチームノズルは使用直後に湿らせた布で拭き、短時間スチームを噴出させてワンドの周囲や内側でミルク等の残留物が硬化しないようにしてください。残留物があると、加熱する飲料の味や品質に影響することがあります。

■ マシンの外側の洗浄

タップと本体の外側は定期的に洗浄してください。清潔な湿らせた布で拭いてください。

■ ボイラー内の水の入替え

週に2回リフレッシュボタンを押して2分間放置後、リフレッシュボタンを押して停止させてください。



故障かな？

◎ 次のような場合は故障でないことがありますので、お申しつけの前にもう一度ご確認ください。

■ 本体が加熱しない

ヒータースイッチが右側の「Ⅱ」の位置にあり、左側の「Ⅰ」の位置になっていないことを確認してください。

■ 安全リセットスイッチ

スチームシステム本体には、ボイラーのヒーターの近くにサーモスタット制御の安全リセットスイッチが2つ取り付けられています。スチームボイラーが加熱されない場合、安全リセットスイッチが過度な温度により動作している場合があります、部品が故障している可能性があります。

これらの安全スイッチは、スチームシステム本体の内部にあり、使用者がリセットすることはできません。

安全スイッチが動作していると思われる場合は、技術者による本体の修理が必要になります。

その場合は、修理受付番号へご連絡をお願いいたします。

■ スチームがでない

ボイラーの水が多すぎる、または少なすぎる場合は、タップの動作が停止します。

ボイラー水位確認窓で水が入っていることを確認します。

■ ボイラーに給水されない

本体に接続されている給水の元栓が開いていることを確認します。

水圧が低すぎる場合、ボイラーに給水されません。

調整方法 & 仕様

スチーム圧の調整方法 ※エンジニアから指示がある場合のみ作業してください。

モジュール部正面のスチーム圧調整ネジを現在の位置から右（時計回り）、または左（反時計回り）に 90° 回すごとに ± 約 0.14bar スチーム圧が変動します。



スチーム圧を上げ過ぎると（約 1.8bar）、安全弁が開きマシン内部より蒸気が漏れる可能性があります。

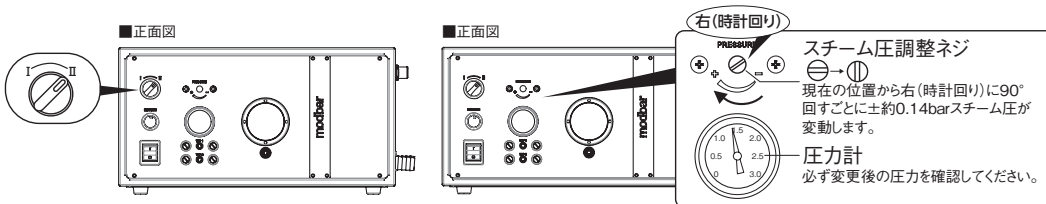
推奨圧 1.1bar ~ 1.5bar

ご注意

明らかに圧力が低い場合や高い場合には無理に調整せず、電源を切ってコールセンターに連絡してください。

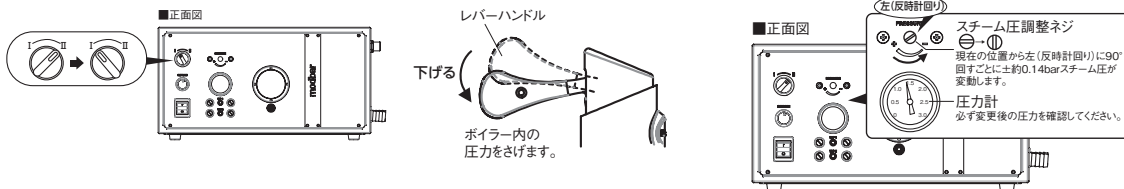
■ スチーム圧を上げる場合

- 1 モジュール部正面のヒータースイッチが「Ⅱ」の位置にあることを確認してください。
- 2 モジュール部正面のスチーム圧調整ネジを右（時計回り）に回します。
- 3 圧力計の針が設定したい値で止まっていることを確認してください。



■ スチーム圧を下げる場合

- 1 モジュール部正面のヒータースイッチを「Ⅰ」の位置に回します。
- 2 レバーハンドルを下げて、スチームを出しボイラー内の圧力を下げてください。
- 3 モジュール部正面のスチーム圧調整ネジを左（反時計回り）に回します。
- 4 モジュール部正面のヒータースイッチを「Ⅱ」の位置に回し、圧力計の針が設定したい値で止まっていることを確認してください。



仕 様

形 名	STEAM SYSTEM 2.0	
電 源	単相：200V	
消 費 電 力	3000W	
重 量	モジュール	18kg
	タ ッ プ	3.5kg
ボ イ ラ ー 容 量	2.8L	
寸 法	Tap 部分：W88.9×D273×H316mm Mod 部分：W435×D378×H215mm	

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

製品保証書

型 式		機番	保証期間
お 客 様	お名前 様		お買上げ日より 1 年
	ご住所 〒		お買上げ日
	電話 () —		* 年 月 日
*販売店名			
住所			
電話 () —			

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。
ご販売店さまへ：*印欄は必ず記入してお渡してください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

ラッキーコ-ヒ-マシン 株式会社

本 社 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番 TEL(078)451-8300 FAX(078)451-5777

事業所については
こちらをご覧ください

